看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する計画　〔西脇市立西脇病院〕

2026.4

業務内容		状況及び計画	実施時期
１．看護師等の医療関係職と事務職員等との役割分担			
	診療報酬請求書の作成	請求事務については、委託の医療事務者が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	外来診察の補助	外来クラークを配置し、各種検査の予約や説明等に係る事務、書類、伝票類の整理、医療上の判断が必要でない電話対応などを行う。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	患者の検査室等への移送	外来クラークを配置し、患者の状態等、特に問題がない場合においては、患者の検査室等への移送を対応する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	書類や伝票の整理	病棟における看護師の事務的業務について、事務的看護補助者を増員し対応することにより看護師が本来業務に専念できる環境を整えていく。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	療養生活上の世話等の看護補助業務	療養生活上の世話等の看護補助業務を行う看護補助者を直接雇用から派遣に切り替え増員することにより看護師が本来業務に専念できる環境を整えていく。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	夜間帯における療養生活上の世話等の看護補助業務	夜間帯に看護補助業務を行う看護補助者を配置し、看護師が本来業務に専念できる体制を整えるとともに看護師の負担軽減を図る。	Ｒ７年10月～ Ｒ８年４月時点　11名
	ベッドメイキング	ベッドメイキングは、業務委託している業者が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	物品の搬送･補充	院内の物品の在庫管理・搬送管理・消費管理については、業者による一元管理となっている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	退院調整部門の強化	退院調整を担う患者総合支援センターの社会福祉士を配置することにより看護師の負担軽減を図る。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	臨床工学技士による入院棟ラウンドの実施	臨床工学士が、入院で使用中の医療機器のラウンド点検を行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	事務的看護補助者（病棟クラーク）の配置	事務的看護補助者を増員することにより、看護職員の更なる負担軽減を図り、かつ本来業務に専念できる環境を整えていく	実施中 （Ｒ８年度も継続）
２．看護師等の医療関係職との役割分担			
	臨床検査技師による採血、検査説明	採血業務の一部を、看護師に代わって臨床検査技師が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	診療放射線技師による穿刺介助	看護師が行うＣＴ・ＭＲＩ造影検査時の穿刺を診療放射線技師が介助することにより看護師の負担を軽減する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	病棟薬剤師の配置	病棟に薬剤師を配置し、薬剤の一元管理を行うとともに、入院患者の持ち込み薬剤の整理、管理を病棟薬剤師が行い、看護師の負担を軽減する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	薬剤師によるミキシング	現在、抗がん剤などの一部は、薬剤師が行っている。今後、薬剤師によるミキシングの範囲を拡大していく予定である。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
	臨床工学技士による医療機器の管理	医療機器の管理は、医師の指示の下で臨床工学技士が行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
３．多様な勤務形態の導入			
	多様な勤務形態の導入	多様なニーズに対応すべく細かな勤務形態を導入している。（夜勤専従看護師の導入等）	実施中 （Ｒ８年度も継続）

４．妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

院内保育所の設置	育児支援の充実を図るため、院内保育所を開設し、医師及び看護師の子どもを対象に受け入れを行っている。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
半日・時間単位休暇制度	子供の急な体調不良に対する小児科受診支援並びに休暇支援を実施している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
所定労働時間の短縮	育児時間制度で多様なニーズに対応している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
他部署への配置転換	本人から看護局への要望により配置転換を実施している。	実施中 （Ｒ８年度も継続）

５．その他

看護職員の計画的な採用	より安全で質の高い看護を提供するため、看護職員を計画的に採用していく。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
予定入院患者に対する入院時支援 （病棟看護師の負担軽減）	入院予定の患者に対し入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、服薬中の薬の確認等を入院前に実施することで安心して入院医療を受けられるよう入院時支援を実施する。	実施中 （Ｒ８年度も継続）
総合医療情報システムの全面更新	電子カルテシステムを中心とした医療情報システムを更新することでより安全で効率的な診療を行える体制を整える。	実施済 Ｒ６年２月～
勤怠管理システムの導入	勤怠管理システムを導入することで、勤務時間管理や各種申請手続きに係る看護師の負担軽減を図る	実施済 Ｒ６年２月～
院内グループウェアの更新	院内グループウェアを更新することで、さらなる業務の効率化や職員間の連携強化を図る。	実施済 Ｒ７年３月～